

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成25年4月11日(2013.4.11)

【公開番号】特開2011-185503(P2011-185503A)

【公開日】平成23年9月22日(2011.9.22)

【年通号数】公開・登録公報2011-038

【出願番号】特願2010-50167(P2010-50167)

【国際特許分類】

F 24 D 3/16 (2006.01)

F 24 D 11/00 (2006.01)

【F I】

F 24 D 3/16 F

F 24 D 11/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成25年2月21日(2013.2.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

躯体にパイプ管をはりめぐらせ、該パイプ管内に液体を循環させて温度を制御する温度制御方法において、

パイプ管の外側に蓄熱材を被覆させることを特徴とする温度制御方法。

【請求項2】

床材基礎部に、パイプ管をはりめぐらせ、該パイプ管内に温水を循環させて温度を制御する温水式床暖房の温度制御方法において、

パイプ管の外側に蓄熱材を被覆させることを特徴とする温水式床暖房の温度制御方法。

【請求項3】

蓄熱材とバインダーを含む蓄熱組成物をパイプ管の外側に被覆させ、該蓄熱組成物を固形化させ、パイプ管の外側に蓄熱材を被覆させることを特徴とする請求項1または請求項2に記載の温度制御方法。

【請求項4】

パイプ管をはりめぐらせた後、蓄熱材とバインダーを含む蓄熱組成物をパイプ管近傍に流し込んで固形化させ、パイプ管の外側に蓄熱材を被覆させることを特徴とする請求項1または請求項2に記載の温度制御方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

すなわち、本発明は以下の特徴を有するものである。

1. 躯体にパイプ管をはりめぐらせ、該パイプ管内に液体を循環させて温度を制御する温度制御方法において、パイプ管の外側に蓄熱材を被覆させることを特徴とする温度制御方法。

2. 床材基礎部に、パイプ管をはりめぐらせ、該パイプ管内に温水を循環させて温度を制御する温水式床暖房の温度制御方法において、パイプ管の外側に蓄熱材を被覆させることを特徴とする温水式床暖房の温度制御方法。

3. 蓄熱材とバインダーを含む蓄熱組成物をパイプ管の外側に被覆させ、該蓄熱組成物を固形化させ、パイプ管の外側に蓄熱材を被覆させることを特徴とする1.または2.に記載の温度制御方法。

4. パイプ管をはりめぐらせた後、蓄熱材とバインダーを含む蓄熱組成物をパイプ管近傍に流し込んで固形化させ、パイプ管の外側に蓄熱材を被覆させることを特徴とする1.または2.に記載の温度制御方法。